

・ 4月28日（水）、清水町身体障害者福祉会総会に出席しました。

障害のある方々の福祉の向上のために、さまざまな活動を通じて障害者福祉の増進と生活向上に努めておられます会員の皆様に、心から感謝を申し上げます。



・ 4月22日（木）、令和3年度の環境美化推進委員46名に委嘱状を交付しました。これまでの委員の皆様のご尽力により、町民の環境美化意識は確実に高まってきております。今後も委員の皆様には、町の快適な生活環境を確保するため、啓発活動や環境パトロールの実施などにお力添えをお願いいたします。



・4月22日（木）、株式会社エスパルス様とファミリータウンパートナーシップ協定を締結しました。エスパルス様とSDGsの基本理念を基とした協働体制を構築できることは、町の将来都市像である「くらしやすさで未来をともにつくるまち」の実現に向け、非常に心強く感じております。この協定が地域社会の持続可能な発展につながることを期待し、さらなる連携に努めてまいります。



・4月21日（水）、令和3年度最初の定例区長会に出席し、新たに就任された本長沢区長の庄司勝彦様、上徳倉区長の岩崎博文様に清水町地区委員の委嘱状を交付しました。新たに就任された区長様、また、引き続き務められる区長様も、地域のリーダーとして、より良い地域づくりのためにご活躍いただけることを期待しております。



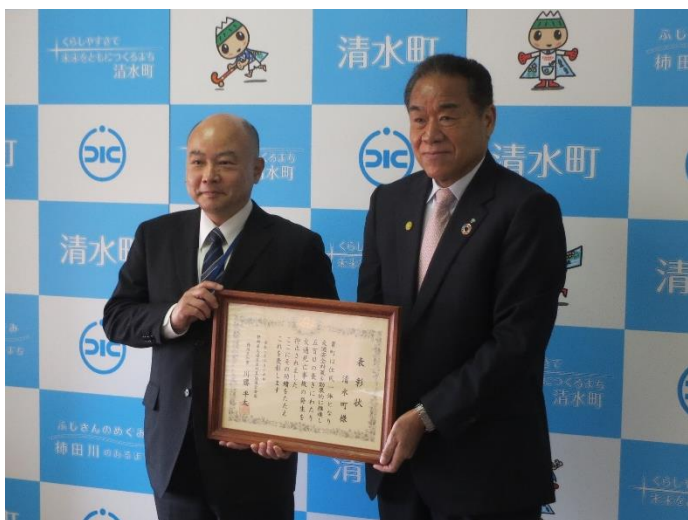
・4月17日（土）、図書館・保健センター複合施設「まほろば館」来館者10万人達成記念式典に出席しました。

10万人目の来館者となった木田茉那さん、莉菜さん、鈴木ひとみさんに記念品を贈呈いたしました。「まほろば」とは、「素晴らしい場所」「住みよい場所」という意味であり、この名に恥じないように活用を図ってまいりたいと考えております。



・4月15日（木）、清水町交通死亡事故ゼロ連続500日達成の表彰状をいただきました。

この表彰は、交通事故を1件でも減らすことにご協力をいただいている町民の皆様と、日頃から交通安全活動にご尽力いただいている交通指導員会、交通安全協会清水分会ほか関係各位のご努力の賜物であります。皆様方に心から感謝と敬意を申し上げます。



・ 4月12日（月）、清水町民生委員・児童委員協議会の総会に出席しました。

コロナ禍の中、民生委員・児童委員の皆様には、高齢者の支援や見守り活動などに日々取り組んでいただいております。その献身的な活動に感謝を申し上げます。今後も、「誰もが安らぎと生きがいを感じる『笑街健幸』のまち」の実現にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



・ 4月6日（火）、本町のふるさと納税に繰り返しご賛同いただいた寄付者の皆様へ感謝の気持ちを伝えるため、町長の私から直接お礼の電話をさせていただきました。

今後も町のふるさと納税の返礼品に新たに加わった商品やサービスをPRし、積極的にトップセールスを行ってまいります。



・ 4月2日（金）、医療機関を対象とした新型コロナワクチン集団接種説明会に出席しました。
町では、5月11日から高齢者の皆様を対象に新型コロナワクチンの集団接種が開始されることになりました。この事業は、医療機関の皆様のご理解ご協力が必要不可欠であります。日頃の診療でお忙しい中、ワクチン接種にご協力いただける沼津医師会清水地区の皆様にご心より感謝申し上げます。



・ 4月1日（木）、新規採用職員と語る会を開催しました。
新規採用職員の皆さんに対し、町長の私から、町民や先輩職員と自ら率先してコミュニケーションを取ること、失敗を恐れずに仕事に挑戦すること、同じ失敗を繰り返さないようにすることなどについて話をいたしました。新規採用職員6名の今後の活躍に期待しております。



・ 4月1日（木）、令和3年度清水町立小中学校教職員着任式に出席しました。

4月から本町の小中学校に着任される24名の先生方に、歓迎の挨拶を申し上げます。

清水町では、町の教育の目指すものとして「夢を育む」を位置づけ、子供たちが21世紀を力強く生き抜く力と個性を育む教育の推進のため、学習やスポーツなどに夢や目標を持ってまい進できるような支援に取り組んでおります。

清水町が、教職員の皆様と子供たちにとって豊かな学びの場となり、清水町の教育がますます充実していくことを期待しております。



・ 4月1日（木）、令和3年職員辞令交付式を行いました。

新規採用職員及び異動する職員に辞令を交付しました。

新規採用職員の皆さんには、初心を忘れることなく、その若さと気力で精いっぱい職務に取り組んでいただくことを期待します。

人事異動は、職員意識と行動を改革することで「人材育成」と「組織の活性化」を図る手段であると考えております。新型コロナウイルス感染症がまだ収束を見込めない状況が続いておりますが、全職員が一丸となってこの難局を乗り切ってまいりましょう。

